

大賞に須藤さんの「美術館建築」

東北工大の卒業 設計公開審査会



最優秀賞を受賞した須藤さん

東北工業大学建築学部建築学科は2月27日、仙台市内の八木山キャンパスで2022年度卒業設計公開審査会を開いた。最優秀賞に当たる尚建会大賞には、須藤寛天さんの「美術館建築」を選んだ。公開審査会は学外へのプレゼンテーション機会などを与えるため、外部有識者を審査員に招き、卒業制作展の一環で毎年実施している。

今年度の審査は画家の大嶋貴明氏、大野秀敏東大名誉教授、城戸崎和佐京都芸術大教授、本江正茂東北大学院准教授、学科OBの伊藤博氏が務めた。学生のプレゼン内容などを踏まえ、審査員の投票と討議で入賞作品を決めた。

最優秀賞の「美術館建築」は、仙台市内中心部にある旧東北大農学部跡地に、アーテリストの作品を創作・制作過程から見ることができる美術館を提案した。広大な敷地を生かした大小さまざまな建築群を大屋根でシームレスにつなげる。アーテリストがゲリラ的にアトリエやギャラリー、レクチャールームなどに活用することで、「つくる」「みせる」「おしえる」などのアクティビティを体感できる空間を演出する。

受賞した須藤さんは「大賞

を取れたが、審査員から個別に評価されるポイントが少なかった。今後は強烈に関心を引く作品を提案していきたい」と力を込めた。

「都市の記憶装置 京島の断片から立ち上がる建築」、経済交流会賞に修士設計の中から小山田陽太さんの「形態的抑揚によるシークエンスの研究および設計」を選出した。

